

懇話会会長挨拶 成功者の15の習慣から  
埼玉県技術・家庭科懇話会  
会長 羽島 隆夫

新型コロナウイルスの感染拡大が進んでいます。ワクチンもなく、対策としては一人一人が「うがい、手洗い、人混みに出かけない・・・」程度の防御対策しかとれないとのこと、まだまだ世の中には未知の物が多い事を改めて知らされた思いです。

さて、先日、「成功者の15の習慣」という記事を目にしました。その中で私の特に注目した5つをまとめます。

## 1 朝型であること

1日24時間を有効に使うため朝型人間になるのがベストとされます。古来言われているように将に「早起きは三文の徳」なのではないでしょうか。

## 2 重要な業務は午前中に済ませよ

最優先すべき重要な業務は、なるべく朝の早い時間帯に取り組み、やるべき仕事はなるべく早く取り組むことです。

## 3 計画と戦略を練る

今日1日、今週1週間、今月1か月のスケジュールを立てる。計画をきちんと立てる。生活に見通しが付けられ、結果、時間的ゆとりも生れます。

## 4 大変なことは先にやる

仕事上でやるべき業務「To-Doリスト」を作成した時に、大変そうな仕事、苦手な仕事、面倒くさそうな仕事はついつい後回しにしてしまいがちです。気が進まない仕事は前倒しにして思い切って一番初めにやってみようか。

## 5 趣味を楽しむ

忙中にも、隙間時間を見つけて趣味を楽しむ余裕も忘れないことです。一人でもできる趣味、他人との関わりのある趣味など、今後の人生も考えると趣味を持つ事の大切さを感じます。

この1年、会員の皆様お一人お一人のご健康でのご活躍を祈念しております。

研究会会長あいさつ

埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会  
会長 橋本 和人  
(蓮田市立黒浜中学校長)

埼玉県中学校技術・家庭科懇話会 会長 羽島隆夫様をはじめ会員の皆様方には、物心両面からのご支援をいただき衷心より御礼申し上げます。

本研究会では研修主題「未来を切り拓くための資質・能力を育成する学習指導の研究」を掲げ、「資質・能力を段階的に身に付けるための3学年間を見通した題材計画の作成」を行い、「見方・考え方を働かせた『深い学び』の実現」に向けて実践を重ねています。

懇話会では研究半ばにもかかわらず、発表の機会を与えてくださった上に、御示唆に富む御言葉をいただきました。私たちの背中を温かい手で力強く押してくださったことに感謝申し上げます。

SAITAMA創造ものづくり教育フェアでは、昨年度に続き今年度も2日に渡る開催とし、25回目を数える埼玉県独自の大会は県民活動総合センターを会場にして、全国大会県予選会はイオンモール与野にて土曜開催として、沢山の皆さまに中学校技術・家庭科の取り組みをご覧いただくことができました。同時に、第20回全国創造ものづくり教育フェアにおける関東甲信越地区予選会と全国大会において、埼玉県が「ロボットコンテスト」の企画運営の主体となって精力的に取り組む姿から、改めて本県教育のレベルの高さを知ることができました。

今年の関東甲信越ブロック研究茨城大会では台風により被災された皆様方にお見舞い申し上げるとともに、当日もその中であって先生方の前向きな姿勢に敬服するばかりでした。本県より2つの部会にて御提案いただきました先生方に感謝申し上げます。

8月23日の第2回専門委員会にて文部科学省教科調査官 丸山早苗様をお迎えして御指導、激励いただき、向かうべき先を明るく照らしていただきました。2月14日の教員研究発表会では、埼玉大学教育学部教授 山本利一様をお迎えして充実した研修の場になりました。心から御礼申し上げます。

結びに、埼玉県技術・家庭科懇話会の皆様には、県中学校技術・家庭科教育への相変わらぬご支援を賜りますことに感謝申し上げますとともに、技術・家庭両分野とも世代交代を果たし、意気軒昂たる姿勢で臨む担当教員の御指導御示唆賜りますようお願い申し上げます。